

第1回第1部会(H28.11.29開催)での主な意見と対応

第1次総合振興計画の成果について

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
①	「1-1自然環境の保全」	有害鳥獣被害額が激減しているが、イノシシやサルの個体数がどのように推移しているのか。 また、事業メニューに位置づけるべきではないか。	電気柵の設置が被害を抑制している。イノシシの捕獲数はH27の65頭から100頭まで増加しており、サルは毎年60頭ほど駆除しているが、正確な個体数は把握できない。 なお、有害鳥獣被害対策については、農林水産業の振興とともに議論を深めたいため、第2部会で検討する。
②	「1-2河川・海岸環境の保全と整備」	主な指標で河川愛護団体数3団体とあるが、町内会でも黒部川の管理を行っている。どのような団体をカウントするか検討してはどうか。	該当する団体の定義や条件等の見直しを含めて検討したい。
③		各種ハザードマップの作成とあるが、地震のハザードマップはどのように考えているのか。	地震は活断層の位置を示すことは可能だが、被害想定が困難なため、ハザードマップの作成は困難。地震発生時の対応マニュアルは作成している。
④	「4-8消防・防災体制の充実」	各種ハザードマップ、揺れやすさマップなどを住民に周知することが重要と考える。その取り組みはどこで位置づけられるのか。	ハザードマップなどの住民周知については、事業メニュー「災害に対する意識啓発活動の推進」で取り組んでいく。
⑤		災害が発生した場合に現状の消防職員数で対応可能か検討する必要があるのではないか。	常備の消防業務は、平成25年から新川地域消防組合において広域的(1市2町)に実施されており、黒部市の計画で広域消防の職員配置を施策として取り上げるのは適当でない。 本計画では、市の消防団や消防水利等の非常備消防の取り組みが主になるものと考えている。

第1次総合振興計画の成果(個別事業別)について

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
⑥	「1-1自然環境の保全」 個別事業No.12	自然環境保全エコツアー開発推進事業は縮小とあり、民間にシフトする旨が記載されているが、民間主導への方策は考えているのか。	これまでも行政主導から民間主導へ転換し、事業展開してきた経緯があり、縮小としている。行政は民間の活動を支援していきたい。
⑦	「1-4水を活かしたまちづくり」 事業メニューNo.29	事業メニュー「水に関するイベントおよび全国PRの推進」の個別事業は継続となっているが、黒部の名水は全国に誇れる資源であり、PRを拡大して欲しい。	資源としての名水の価値はこの地域特有のものであり、名水を生かしたPRにこれまでも努めてきている。 再来年に開催される「名水サミット」の開催地となるよう要望している。

施策の現状・課題及び施策推進の方針等について

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
⑧		<p><⑤施策を推進していく際の方針>のB.政策の展開方針にハザードマップの周知とあるが、防災のところで良いので避難訓練も加えて欲しい。</p>	<p>洪水及び津波、高波など、河川、海岸部の被害想定周知及び避難訓練については、防災意識の向上と関係が深いため、ご指摘の項目については施策区分「消防・防災体制の充実」の事業メニュー「災害に対する意識啓発活動の推進」の中で取り扱うこととしたい。</p> <p>このことから、当初検討していた「河川事業」の事業メニューに「河川想定最大規模洪水区域」を新たに追加することは取り消すこととしたい。</p>
⑨	「1-2河川・海岸環境の保全と整備」	<p><⑥の第2次計画の事業メニュー>に河川想定最大規模洪水の周知とあるが、避難訓練も重要。海岸事業についても、県は津波想定最大規模の浸水区域の公表を検討しており、その周知と避難訓練も重要であり、防災の所でもよいから追記できないか。</p>	

施策体系(まちづくり方針・施策区分等)について

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
⑩	「1-4水の保全と利活用」	<p>大学や研究機関等の水に関する研究支援や研究内容が周知できればよいと思った。</p>	<p>施策中分類「水環境保全整備事業」の事業メニュー「水環境保全団体などの活動支援」の中で盛り込めると考える。</p>
⑪	「1-5循環型社会の形成」	<p>ダム・河川の管理上、流木の処理に悩んでいる。施策としてエネルギー利用として流木を活用してもらえるとありがたい。</p>	<p>宇奈月温泉コンソーシアムで流木の利活用について実証実験を行っている。事業メニュー「小水力・太陽光・地熱等エネルギーの調査研究および利活用」か「ジオパーク・フィールドミュージアムの推進」の中に盛り込めるか、検討したい。</p>

第1回部会以降の意見・提言

	区 分	意見内容等	回答・対応等
①	基本計画	<p>若い方が宇奈月温泉に来ていただくため、次の4つの取組を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①空き家バンクの充実 ②地域おこし協力隊の宇奈月温泉への配置 ③宇奈月温泉街でのチャレンジショップの設置 ④山の活用(海外の方々が日本の自然に興味を持ち、気軽に訪れる観光の取組み) 	<p>①及び②は第6部会(協働・行財政)、③、④は第2部会(産業・観光)の協議項目に属することとなります。 提案いただいた取組については、今後、個別事業を検討していくにあたって、参考とさせていただきます。</p>